

1 はじめに

本校の「総合的な学習の時間」の取り組みは、これまで伝統として作り上げてきた「黒潮タイム」と、発達段階に応じて各学年において課題追究を目指す「ひまわりタイム」の二本立てで行っている。黒潮タイムでは「現代社会における様々な文化において、自ら設定した課題について、主体的・探究的に学ぶ生徒を育成する」というテーマを設定し、学習を展開している。具体的には、従来の「ソーラン踊りコース」「黒潮太鼓コース」「工芸コース」「文学コース」の4コースに加えて、平成23年度から「福祉コース」「国際コース」、平成26年度から「機械コース」「科学コース」を開設し、生徒の希望に応じてコースを選択するといった「全校・縦割りグループ」での協同学習を行う点が「黒潮タイム」の最大の特色である。自分の選んだ学習を通して地域の文化と伝統に愛着を持ち、自ら主体的に学ぶ態度を育てることを目指している。

総合的な評価とともに、学習過程における評価を重視し、個を生かし、個に応じた援助・支援の充実に努めている。伝統・文化を位置づけた学習の構想を立て、総合的な学習の時間に取り組んでいる黒潮タイム実践を紹介したい。

2 指導案等

(1) 黒潮タイムガイダンス

目 標：黒潮タイムのガイダンスを聞き、各コースの学習内容を知り、コース別学習を決定していく。

主な学習内容	評価の視点						
14:15 体育館へ移動開始 整列＝全校集会の形態で【持ち物】筆記用具、体育館シューズ 14:25 「黒潮タイム」活動内容の説明 「総合的な学習の時間」の学習についての説明を聞く。 ・黒潮タイム ・ひまわりタイム 14:30 ガイダンス（スクリーンを使った説明） 各コース3分程度で説明する ソーランと太鼓は5分程度 <table border="0"> <tr> <td>1 工芸コースについて</td><td>2 機械コース</td></tr> <tr> <td>3 文学コースについて</td><td>4 コースについて</td></tr> <tr> <td>5 国際コースについて</td><td>6 科学コースについて</td></tr> </table> ※ 過去の作品・道具など具体的に紹介できるものを用意する。 14:45 7 太鼓コースについて（実演またはDVD鑑賞） 14:55 8 ソーラン踊りコースについて（実演またはDVD鑑賞） 15:05 希望用紙記入 ・第1希望～第3希望まで記入する。 ・3年生はリーダー希望の有無を記入する。 15:10 希望用紙の回収 学級委員が「第1希望」の「コース」ごとに回収する。 コース別に担任に提出する。 15:15 解散	1 工芸コースについて	2 機械コース	3 文学コースについて	4 コースについて	5 国際コースについて	6 科学コースについて	本校の「総合的な学習の時間」が黒潮タイム・ひまわりタイムの2本立てであることを理解できたか。 （観察） 各コースの説明を、メモを取りながら、しっかり聞くことができたか。（観察） 学習するコースを選び、自分の希望まで記入することができたか。 （観察）
1 工芸コースについて	2 機械コース						
3 文学コースについて	4 コースについて						
5 国際コースについて	6 科学コースについて						

(2) 黒潮タイムの学習の進め方

総合的な学習の時間の目標に合わせて黒潮タイムの目標を設定し、その目標の達成のため学習を進めて行く。

【学習指導要領における総合的な学習の時間の目標】

- 横断的・総合的な学習や探究的な学習を行うこと
- 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する
- 資質や能力を育成すること
- 学び方やものの考え方を身に付けること
- 問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること
- 自己の生き方を考えることができるようにすること

【黒潮タイムの目標】

現代社会における様々な文化において、自ら設定した課題について、主体的・探究的に学ぶ生徒を育成する。

(3) 指導と評価の計画

【授業の進め方について】

- ・ 1年～3年までの縦割り集団で行う久慈中学校の黒潮タイムの特性を生かして、リーダー生徒の主体性を十分に活用していく。
- ・ 生徒達が目標を持って活動ができるように、1年間の活動の中で外に出て発表の機会が与えられたり、体験的な活動ができたりするよう配慮する。
- ・ 顧問教師とリーダーの生徒で打ち合わせを十分に行い活動する。

【リーダーの生徒について】

リーダーとなる生徒を上級生の中から選び、そのリーダーを中心に活動する。

リーダーの人数は、以下を参考にする。

ソーラン踊りコース 10名、黒潮太鼓コース 1名、工芸・竹コース 1名、工芸・陶芸コース 1名
機械コース 1名、福祉コース 1～3名、国際コース 1名、文学コース 1名、科学コース 1名

【各コースと使用場所】

○ソーラン踊りコース（135名）	体育館	○黒潮太鼓コース（41名）	柔剣道場
○工芸・竹コース（15名）	被服室	○工芸・陶芸コース（14名）	美術室
○機械コース（18名）	技術室	○文学コース（30名）	1年2組
○福祉コース（30名）	2年1組	○国際コース（26名）	3年2組
○科学コース（30名）	科学室		

※ 調べ学習を行うときに、必要に応じて図書室、コンピュータ室を譲り合って使用する

【評価について】

いろいろな評価方法を用いて多面的にとらえる。

・ワークシート ・作品 ・レポート ・自己評価 ・相互評価 ・教師の援助・支援等

3 資料

＜黒潮タイムコース別学習内容及び希望調査書＞

「黒潮タイム」は金曜日の6校時に次のコースに分けて学習する予定です。自分の課題（テーマ）を決めて、調べ、体験し、学習したことをまとめていこうとするコースを選びます。

なお、希望人数が多い場合などは、第1希望以外になることもあります。希望調整の参考になるので、希望理由（学習したいこと）やリーダー希望の欄にもしっかりと記入することが大切です。

1 ソーラン踊り コース (100名)	「ひたち秋祭り」で最高の踊りを発表することが目標。先輩から後輩へと引き継がれている伝統の踊り。しっかりと元気な声で踊れる人を募集します。元気がない人、声が出ない人は遠慮してください。
2 太鼓コース (40名)	「ひたち秋祭り」や「味覚祭り」などで上手に演奏することが目標です。昨年度から継続したい強い意志のある人、力強く演奏できる人、リズム感のある人を待っています。人数が多すぎると、太鼓とばちが不足し、練習中に体力トレーニングしかできなくなるかもしれません。
3 文学コース (30名)	文学コースは、百人一首や文学カルタ作りをします。「枕草子」や「源氏物語」「伊勢物語」などの様々な古典文学について調べ学習を行います。そこに生きた人々の生き方や思いを楽しく学びたいという人、お待ちしております。
4 工芸コース 竹細工コース (20名) 陶芸コース (20名)	工芸コースは、竹細工コースと陶芸コースに分かれます。どちらのコースも、費用がかかります。竹細工は、竹を使った工芸品を作ります。陶芸コースでは、七宝焼きや曲玉作り、銅版レリーフなど絵を制作します。
5 機械コース (20名)	モータの原理や仕組みなどについて、調べ学習を中心に学習し、実際に製作を行います。製作においては、費用(1人あたり3000円程度)がかかります。また場合によっては、放課後や夏休みにも活動を行います。
6 科学コース (30名)	生活につながる身近な科学について、観察や実験を通して調べ学習を行ないます。赤羽緑地の環境調査も定期的に行ないます。黒潮祭での発表もありますので、調べてまとめることが好きな人が向いています。
7 福祉コース (30名)	幼稚園訪問、老人施設などを訪問したり、地域の福祉のイベントに参加したり、また手話を学ぶなど、ボランティアを行います
8 国際コース (30名)	英語力upを目標に活動します。ミニインタラクティブフォーラム、英検2次対策などのコミュニケーション活動。外国の音楽、ALTの先生との対話などを通して、外国文化を学んでいく。

	第1希望	第2希望	第3希望	リーダー希望について	希望理由
1 ソーラン踊り コース					
2 黒潮太鼓 コース					
3 文学コース					
4 工芸 コース	竹細工				
	陶芸				
5 機械コース					
6 科学コース					
7 福祉コース					
8 国際コース					

<総合ワークシート>

「今年度の黒潮タイムをふり返って」

1年間を通して、黒潮タイムの活動はいかがでしたか。このアンケートを通して、今年度の黒潮タイムをみなさんにふり返ってもらい、来年度久慈中学校で黒潮タイムを盛り上げていく方法を考えてほしいと思います。しっかりと記入しましょう。

- 1 あなたは、今年度の黒潮タイムに主体的に（自分から進んで）取り組めたと思いますか。5～1で選んで、○をつけてください。

5（とてもそう） 4（ほとんどそう） 3（ふつう） 2（あまり） 1（ぜんぜん）

- 2 1であなたが、そう考えた理由を書いてください。

- 3 あなたが所属しているコースは、全体的に（あなたを含めたコース全体として）充実していたと思いますか。5～1で選んで、○をつけてください。

5（とてもそう） 4（ほとんどそう） 3（ふつう） 2（あまり） 1（ぜんぜん）

- 4 3であなたが、そう考えた理由を書いてください。

- 5 来年度、黒潮タイムをさらに充実させるにはどうしたらよいと思いますか。1～2年生は、そのためにあなたは做什么するつもりなのかも書いてください。

4 成果と課題

○成果

- ・「黒潮タイム」では、新設も含め多様なコースを設けたことにより、生徒一人一人の興味・関心に応じ学習を選択させることができ、学習活動に主体的に取り組もうとする生徒の姿が見られた。
- ・伝統文化の伝承を通して、地域・家庭の協力が得られ、外部との連携を密にすることができた。
- ・生徒の活動を個に応じて支援しながら、生徒理解を深めることにより、教師の見方・考え方が向上し、指導に生かすことができた。

○課題

- ・コースによっては担当教師の負担が大きく、もっと担当教師を増やしたいと思う。負担が特定の教師に集中してしまうこともある。
- ・参加人数が多くなると道具に限りがあるので活動できなくなる。道具のメンテナンスなどに費用がかかる。コースによっては道具を借りたりしているが不足している。
- ・希望をとることによりコースによって人数にバラツキが出てしまうことがあり、その調整に時間がかかることがある。
- ・生徒が「総合的な学習の時間」により主体的に取り組む姿が見られるように、内容について年度当初に教師間で十分議論を深めることが必要である。
- ・「黒潮タイム」については、担当の教師にとっても意欲的に取り組めるコースを受け持つようにする。教師の積極的な指導は、「黒潮タイム」の充実・発展には欠かせない。
- ・生徒の個々の課題を追究する時間やまとめ・発表の工夫などのために、十分な活動時間の確保をしていく必要がある。